

# 小型航空機等に係る安全対策の今後の進め方(案)

## (1)全体像

### 安全啓発・運航者との連携

### ルール、指導監督、運航環境の改善

速やかに開始する取組

来年度以降早期

#### 基本となるプラットフォームの整備

- メール等の操縦士との情報共有手段の確保
- 情報発信の開始
- (例)・簡易型FDR等の安全に寄与する新技術の紹介
  - ・エラーやエラーに繋がる要因(Threat)を分析し対策を検討する予防的なリスク管理(Threat and Error Management: TEM)の紹介
  - ・自発報告の可能なVOICESの紹介と活用の促進
  - ・海外当局の安全情報

#### 昨年より実施しているルール、指導監督、運航環境の改善策

- ・講習会や審査を通じた安全啓発
- ・事業許可の指導強化、啓発、情報発信
- ・情報提供サービスの活用促進

等

自発報告等

運用状況

#### 調査

- アンケート(ヒヤリハット、ニーズ調査)
- 事故等の要因の詳細分析
- 海外事例の詳細調査 等

調査結果

調査結果

#### プラットフォームの充実

- ポータルサイト開設、SNSの活用
- 情報発信の強化
- (例)・ビデオ教材、日本版TEM訓練教材 等の開発

運航者情報等

#### 方向性の検討と取組みの強化

- 課題の抽出と、対応の方向性の整理
- 指導監督体制等の見直し
- (例)・審査・試験のあり方、立入検査体制 等

対応に必要な調査事項

#### 調査

- 運航者情報等の分析等、開始した取組の状況を踏まえた調査 等

調査結果

調査結果

#### プラットフォームの高度化

- (例)・ヒヤリハットや飛行データ等様々な運航者情報を管理、解析、リスク軽減策を検討するデータベースの構築

#### ルール見直しの実施

- (例)・新技術導入の義務化、その他制度の見直し 等

速やかに開始する対策

(1) 基本となるプラットフォームの整備

- 操縦士とのメールによる情報共有手段の確保(特定技能審査時にメールアドレスの登録を依頼)
- 情報発信の開始(国土交通省のHP等を通じて新技術、TEMに関する情報等を発信)

安全対策の構築に向けた調査  
(平成29年度から順次実施予定)

(1) 事故・重大インシデント等の分析

- 国内の事故・重大インシデントの詳細分析
- 国内のヒアリハット情報の分析(必要に応じて運航者アンケート等も実施)
- 海外の事故・重大インシデントの詳細分析 等

(2) 安全対策内容の具体化に向けた調査

- 海外の小型航空機等安全対策の詳細(事故・重大インシデントとの関係性等も含む)
- 新たな技術導入のための費用対効果、関連する基準に係る調査
- プラットフォームの充実にに向けた調査
- 制度のあり方や運航環境等についての今後の方向性に係る調査 等

適宜  
フィード  
バック

平成29年度から実施する対策  
(想定)

(1) 安全啓発活動の充実に向け可能な事項の実施

- ビデオ教材等の教材の開発
- 日本語版TEM訓練教材の開発等

(2) 指導監督体制の強化

- 特定操縦技能審査等への立入検査
- 飛行クラブとの対面ミーティング 等